

乳幼児期の歯科口腔保健

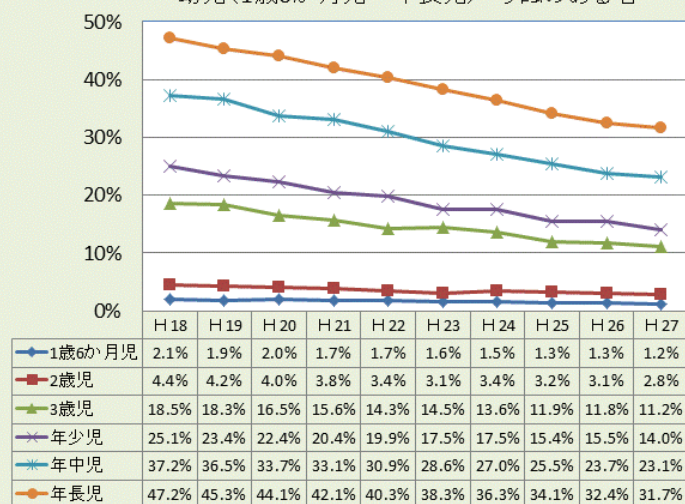
■ 歯科口腔保健基本計画における指標

■ は策定時より悪化した指標

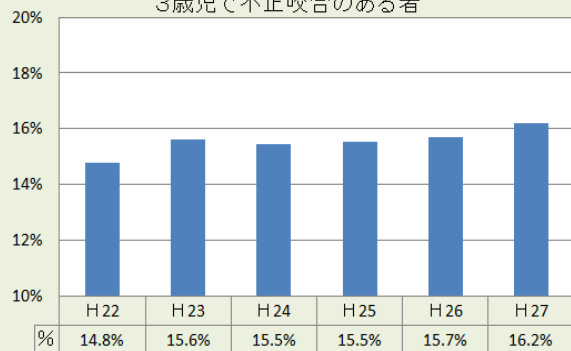
基本方針：【疾】 歯科疾患の予防 【機】 口腔機能維持向上 【環】 社会環境整備

基本方針	指 標	策定時	直近値 (H27)	目標値 (H34)
【疾】	3歳児のう蝕のない者の割合の増加	86.3%	88.8%	95%
	保護者による仕上げみがきがされていない1歳6か月児の割合の減少	25.0%	6.3%	10%
【機】	3歳児で不正咬合が認められる者の割合の減少	14.8%	16.2%	10%
	2歳児の歯科保健指導を実施している市町村の割合の増加	83.3%	90.7%	90%
【環】	3歳児でう蝕がない者の割合が85%以上である市町村の増加	68.5%	81.5%	100%
	1歳6か月児歯科健診以前に歯科保健指導が受けられる場を設定している市町村の割合の増加	78.9%	90.7%	100%

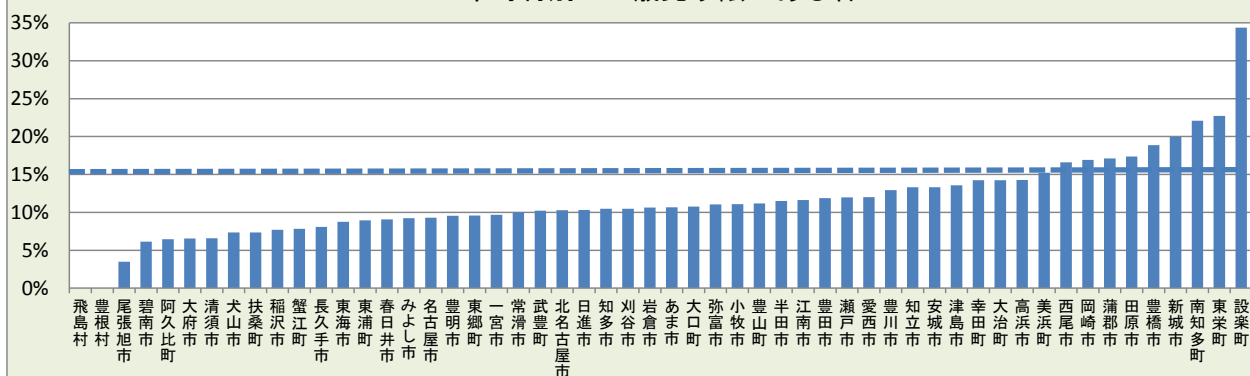
幼児(1歳6か月児～年長児) う蝕のある者



3歳児で不正咬合のある者



市町村別 3歳児う蝕のある者



主な課題等

- 乳幼児期のむし歯は改善しているが、県内市町村間においては格差がある。
- 地域の特性、乳幼児の生活習慣等をふまえた対応が必要である。
- 1歳6か月児歯科健診、2歳児歯科健診から一貫したむし歯予防対策を継続する必要がある。
- う蝕予防に効果のあるフッ化物の応用（フッ化物歯面塗布、フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口）を推進する必要がある。
- 乳幼児期からの口腔機能の発育・発達に関する支援が必要である。

課題に対応するための重点的事業

● 地域歯科保健活動支援事業

（１）乳幼児歯科保健活動支援

市町村と連携し母子保健事業の効果的な実施にむけた支援活動を行う。

（２）フッ化物洗口推進支援

幼稚園・保育所及び小中学校における集団フッ化物洗口の適正かつ効果的な実施に向けた支援活動を行う。

● 地域歯科保健評価事業

地域における歯科保健活動、歯科保健状況等の情報を収集し実態把握するとともに評価・分析・還元を行う。

[関連する主な歯科保健データ]

母子健康診査マニュアル情報、地域歯科保健業務状況報告（妊産婦、乳幼児、園児関連データ）

● 地域歯科保健課題対応事業

地域における歯科保健状況の実態を踏まえ、地域の歯科口腔保健の課題に対応した取組を実施する。

<29年度事業計画>

保健所	事業のテーマ
半田保健所	乳幼児期の歯・口の機能の発達を育む「食べ方」支援に向けた環境整備
知多保健所	乳幼児期の歯・口の機能の発達を育む「食べ方」支援に向けた環境整備
西尾保健所	う蝕対策環境整備支援事業
新城保健所	乳幼児う蝕予防対策の推進への支援

● 歯科口腔保健推進研修事業（国庫 8020 運動推進特別事業）

歯科専門職及び地域関係者等の資質の向上と連携を促進するための研修事業を行う。

普及啓発に関する取組

● 第一大臼歯保護育成の普及啓発

《リーフレット》

- 「こんにちは！6歳臼歯」
- 「みんなで守ろう！ぼくの・わたしの・永久歯」